



令和4(2022)年8月

開設一周年記念シンポジウム

栃木フォスタリングセンター理事
(養徳園総合施設長)

福田雅章

10月は里親月間です。TFCでは開設1周年を記念してシンポジウムを開催することとなりました。

テーマは『中途からの養育と愛着形成』です。妊娠から出産そして子育て、最初から完璧にこなせる親などいません。赤ちゃんは不安や恐怖を感じれば必死に親にしがみつきます。そして親は全くの無力な状態にある子を献身的に守ろうとします。こうしたプロセスを通して愛着は形成されます。親もまた試行錯誤を繰り返しながら、子をいとおしむ気持ちが増えられ親として成長していきます。

しかし、このプロセスを省いて子どもの養育を託されたとしたらどうでしょう。その子が親からの虐待を経験し人を信じられない子だとしたら。子どもの育ちに特

定の大人との愛着形成は不可欠であると言われてはいますが、それは一朝一夕にはできるものではありません。日々のくらしの営みこそが重要とされています。くらしの中で何を大切に子どもと向き合っていけばよいのでしょうか。皆さんとともに考えていきたいと思えます。

シンポジウムの開催にあたって国際医療福祉大学クリニックの小林順子先生の計らいで、高知県で虐待予防のための親支援について研究と実践を積まれてこられた澤田敬先生をお招きすることができました。また小児科医で里親でもある澤田由紀子先生もシンポジウムに参加して下さいます。関係者の皆さんの参加を期待しています。

子どもとの関係をよくするために

栃木フォスタリングセンター1周年記念事業

令和4年10月14日(金)

とちぎ健康の森 講堂(定員200名)

15:45～ シンポジウム「中途からの養育と愛着形成」

パネリスト 澤田由紀子(小児科医・里親)、児童養護施設職員、
子どもの居場所運営者、とちのきフォスター(養育里親)等

コーディネーター 福田雅章(養徳園総合施設長)

助言者 小林順子(国際福祉大学クリニック言語聴覚センター
小児精神衛生相談室)

澤田 敬著



「子どもと生きる・あまえ子育てのすすめ」(養徳園出版)

18:00～ 特別講演「心の響き合い親支援—虐待予防をめざして」

講師:澤田 敬

長崎大学医学部卒業、小児科医、医学博士、元児童相談所医務主任。認定NPO法人カンガルーの会理事長。2018年に小児医療の向上、子どものあまへの研究、子供虐待予防の研究で厚生労働大臣賞を受賞。著書に「子どもと生きる・あまえ子育てのすすめ」がある。

- 事前申し込み制(先着順)です。お申し込み後、参加証をお送りします。
- お申し込みはホームページまたはQRコードから
- 新型コロナウイルス感染症の状況により変更または中止する場合があります。



第67回栃木県里親大会開催に向けて

栃木県里親連合会会長
島山憲夫

令和4年10月23日(日)に開催が予定されている第67回栃木県里親大会に向けて、大会実行委員会が準備を進めています。ここ数年はコロナの影響で大会が中止になったり、オンラインによる開催でした。今年は里親同士が顔を合わせることでできる大会になってほしいと願っています。

里親による家庭養育が重要視されている今日、私たち里親は責任をもって、より良い養育を行っていかねばなりません。

そのためには、単なる親子関係ではなく、「社会的養護下にある子どもと里親のつながり」という親子関係を学んでいくことが大切です。今回の大会では里親里子の体験発表の他に、午後には「思春期の子への対応」「発達に特性のある子への対応」「里親支援専門相談員とのトーク」などといった分科会も予定しています。また、託児の他に、子どもたちには年長から中学生までを対象とした栃木YMCAによる体験プログラムが予定されています。ミニアトラクションとして「小さなサーカス団たらたら」の公演などもあります。楽しい里親大会になることを期待していますので、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思ひます。



里子より

僕が里親さんの家に来て変わったことの一つは、学校の登校です。僕は中学一年生の時、登校回数は一学期は週一回でこれも良い時の回数で悪いときは一か月二回。そもそも教室には行かず担任の先生には会って少し会話してプリントをもらって帰る、となつて、中学二年になってからは、教室には、最後の三年のクラス発表の時の一回だけで二月から九月二十二日までの登校回数も0回で、先生に会ったのも回数程度になりました。ですが里親さん

の家に來てから、学校に一回目の登校から、休まず登校しています。登校といつても、さすがに普通教室は無理だったので特別教室に登校して、三年生になってからは、普通教室に毎日、学校の日は、登校しています。二つ目は友達です。月の前半には、あるクラスメートと話していて同じゲームをしているという後半にカラオケで遊ぶこととなり、友達二人だけだと思っていたのですがもう一人の友達も一緒に遊びました。

K 君 (中学三年)

二年前の自分では信じられませんでした。三つ目は、勉強です。僕は一、二年登校をあまりしていませんので数学や歴史国語英語理科などができまわりました。最低数学の因数分解、歴史の日清戦争など分かるようになってきました。これが僕のステータスアップです。

済生会宇都宮乳児院
里親支援専門相談員

中山裕美子



はじめまして！
フォスター/パートナーです！

済生会宇都宮乳児院の里親支援専門相談員
なり7年目になりました。

この仕事から年間約10名の里親さんに委託して
きました。初めころは どういう仕事なのか、何を
しているのか見よう見まねで動いていたような気が
します。やっと自分の中で納得し里親さんに寄り
添い支援ができるようになったと思っています。

里親支援専門相談員の前は現場の保育士をして
いました。この経験を活かし、世話焼きの近所のお
ばさんのように育児についてのお話をしたいと思
っています。逆に現代の家庭の子育てについて
教えていただくことが多いかとも思います。

この仕事をはじめ、人見知りの私でも子どもにも大
人にも声をかける勇気ももらいました。一緒に考え
相談し成長できたらと思っています。

フォスター/パートナーとして里親さんと長く繋
がっていただけることを喜びと感じています。

とちのきフォスター 時間外電話相談

毎週 水曜日 17:00~20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限りまわす。

080-8082-2298

「里親カフェ」



各地区で開催したカフェでは、初めて参加される方も多く、たくさんの方との交流ができたことと思います。今後も色々な形で企画していきたいと思しますので皆様ぜひご参加ください。カフェの様子はFacebookにて随時更新しております。



6月は東北地区で開催。豊のお部屋で子ども達はのびのび大人はまったり♪



7月は県南地区で開催。子どもたちは遊びに夢中☆

「里親制度説明会」

5月28日栃木市、7月2日大田原市で里親制度説明会を行いました。どちらも約30名の参加者がありました。「制度を知ることによって不安から解放され、積極的に検討してみたいと思った。」「子どもは宝です。この制度をもっと広めていけるよう協力したい。」等の参加者からの感想が寄せられました。

今後多くさんの人に「とちのきフォスター」を知っていただきたいと思っています。

今後の予定は… 9月17日真岡市公民館第3・第4会議室(里親制度について)

11月19日とちぎ青少年センター(ファミリーホームについて)
時間(両日)
13:30-16:00



「子どもの自然体験宿泊」



自然の中で遊ぶのがこんなに楽しいなんて驚き！

澄んだ空気、きれいな水、優しい緑に囲まれ、のびのびと遊びました。普段の生活の中でなかなかできないことを、たくさん経験できたことと思います。センターのホームページでも活動報告に記事を載せていますのでぜひご覧ください。



お昼は流しそうめん♪
初めての体験にワクワク(^_^)

「啓発活動」

6月 県民の日
県庁にて



7月 アジア学院
マルシェにて



6月と7月に啓発活動を行いました。多くの方に里親制度を知ってもらうことができました。今後も様々な形で啓発活動を計画しています。皆様のご協力よろしくお祈りします

県南地区里親会の活動

県南地区里親会会長 山田セツ子

県南地区は、足利市、栃木市、佐野市、小山市、壬生町、野木町、下野市の5市2町です。

里親へのショートステイ委託が可能になってから、やっと栃木市から里親に働きかけがあり、県南第1号として里親さんの家でお預かりしました。今から少しずつ動き始め、そのうちに当たり前の事業になる事でしょう。私達里親が社会的養護の役割を担う大切な一員となっていきたいと思います。

約3年間、コロナの影響で集まりもなく、ほとんど顔を合わせる機会もありませんでした。今年の7月に皆様の協力で、お食事会と座談会を兼ねて、市、町の子ども政策課の方と施設の里親支援の方を迎えて開催する事が出来ました。沢山の里親さんの参加があり、皆様の生き生きとした顔を久し振りに拝見する事が出来てうれしく思います。お昼のバイキングもとてもおいしかったです。沢山食べました。

8月の里親会のキャンプはかかしの里でのぶどう狩り(30分) 食べ放題+1房狩りです。その後かかしの里でローラー滑り台等の遊具などでの交流を行う予定です。

サロン・D・OSは9月から第4水曜日、12時～4時までで単里親がお待ちしています。ぜひ、おいで下さい。



里親へのショートステイ委託
令和3年4月より子育て短期支援事業において、市町が数日間、児童を里親等に直接委託できるようになった。

子ども達のスムーズな自立のために

栃木フォスタリングセンター理事
（ファミリーホーム はなの家ホーム長）
石川浩子

近年、社会的養護の子ども達を取り巻く環境改善のために使われる予算が大幅に増えています。とくに施設や里親の下を出て就職や進学をした後の生活に対するケアの内容が手厚くなっていることはご存じでしょうか。

例えば、自動車免許取得に必要な費用、家賃や生活に対する費用の貸し付け（自立支援資金貸付事業）などです。「貸し付け」となっていますが返還の免除があり、それは決してハードルの高いものではありません。その他、大学等に進学するための支援制度（2020年4月から実施された給付奨学金・授業料等減免制度）もできました。

わが家（はなの家）でも、これらの事業や支援制度を利用し、運転免許の取得のためや大学進学後の生活のための費用に充てている子どもが何

人もいます。とくに大学生達が経済的な心配をすることなく生活することができていることに感謝したいと思います。

しかし、どんなに有益な事業や支援制度であっても、私たち大人（里親）が制度等を知らなければ子ども達が利用することができませんし、とくに経済的支援については預けられた里親によって子どもの権利に違いが生じてはなりません。

子ども達が少しでもスムーズに自立に向けて歩みだせるよう、とちぎフォスター（養育里親）として常にアンテナを高めて情報収集しましょう。

*支援制度等については、「とちぎユースアフターケア事業協同組合」が常に最新の情報を把握しています。問い合わせることも可能です。

とちぎユースアフターケア事業協同組合
TEL 028-680-4686



TFCでは自立支援事業説明会を開催しています。



7月と8月、とちぎユースアフターケア事業協同組合から講師をお招きし「自立支援事業説明会」を開催しました。多くの参加者の方から「具体的な事業内容を聞くことができてよかった。」との感想。子ども達からも、「進路を考える際に必要な内容、知ることができてよかった。」など自立へ向けて意識することができた説明会になりました。



参加者の声

〈子どもから〉

- ・進学と就職は決まっていなくても今回聞いたものように支援してもらえるのは活用して自立していきたい。
- ・支援金を借りる流れや、どういった状況だと借りることができるかなどを知ることができた。
- ・高校卒業後の進路を考える際に必要な内容だった。特に、進学支援に関することは後々のために知りたい。

〈里親から〉

- ・様々な支援があることを知った。他の里親さんにもお伝えしたい。
- ・18歳で何も支援がないと思っていたが、色々な支援、活動があるのに驚いた。
- ・多くの種類の貸し付けがあり、返還を免除されるものもあり、知ることの大切さを痛感した。



栃木フォスタリングセンターでは
経理経験のある
事務スタッフを
募集中です!!

028-612-6970

まずはお電話ください。



TFC
栃木フォスタリングセンター
TOCHIGI FOSTERING CENTER

〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町1837-3
tel:028-612-6970
fax:028-612-6971
email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp

ホームページもご覧ください

HPのQRコード



開所時間:9:00~17:00
定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始

<https://tfc2021.jp/>